

各地の自然災害で被災された方々、新型コロナウイルスに感染された方々に、心からお見舞い申し上げます。  
神様の慰めと助けがありますように、お祈りしております。

夏の夕焼けの美しさは荘厳で この季節だけのものである

# 8/30(日)15:00～ 森繁 昇サマーコンサート Vol.18 入場無料

森繁 昇さんのユーモラスなトークと素敵な歌声をお届けします。爽やかなひと時をお過ごしください。



ボーカル・ギター 森繁 昇

### 【プロフィール】

山口県生まれ。大学卒業後、米国テネシー州に渡り、イエス・キリストに出会う。その後、音楽伝道を開始。1986年ハワイに拠点を移す。年間3～5回来日し、各地の教会でコンサートツアーを展開する。

### バンドメンバー



フィドル  
ジミー・赤澤



ドプロキター  
マンドリン  
パンジョー  
ジロー・国分



ベース  
ジュニア・野田

\*新型コロナウイルスの動向により、やむなく中止させていただくことがあります。中止の際は、教会ホームページでご案内しますので、直前にご確認ください。また、ご不明の際はお問い合わせください。  
\*感染予防のため、ご来場の際はマスク着用、入り口での手指消毒、及び、係の案内に従って距離を保った着席をお願いします。

## 教会からのオススメの一冊

### 「嵐の日本へ来たアメリカ女性」

～宣教師ベティ・フィウエルの軌跡～  
石黒次夫・石黒イサク 著(いのちのことは社発行)

日本にキリスト教が伝わった背景には、それを伝えた人の存在があります。宣教師と呼ばれるこの人々は、遠く離れたアメリカやイギリスなどから派遣され、言葉を覚えるところから始め、ひとり、またひとりと出会った人たちに聖書のメッセージを伝えていきました。拒絶や攻撃に直面しながらも、また、時代の波の中で、弾圧や妨害に遭いながらも、決して諦めたり、逃げたりすることなく伝え続けました。それは彼らが日本をこよなく愛し、日本のために篤い祈りをささげ



ていたからに他なりません。

「嵐の日本へ…」に取り上げられている女性宣教師ベティ・フィウエルもそのひとりでした。彼女は、軍国主義に突き進む真只中の日本を訪れ、宣教が困難とされていた

美濃地方(岐阜県)を舞台に、宣教を続けました。地域の住民たちからは、大きな反発と妨害が起こり、ときには集会中に暴徒がなだれ込み、ベティや信者たちが殴りつけられるということもありました。そんな中でも彼女の愛の姿に心打たれ、神様を信じる人も増えていったのです。彼女は、太平洋戦争中は本国アメリカへの帰国を余儀なくされましたが、終戦後に再び美濃へ戻り、教会の礎を据えました。そして、文字通り、最期の一息まで日本の宣教にその生涯を尽くしました。彼女の愛と労苦は大きな実を結び、今もキリストを信じる人々と教会が、この地域に神様の愛を伝え続けています。

終戦75年目の今年、思いがけず新型コロナウイルスに苦慮する年となっています。ことさらに平和を願う心を強くすると共に、時代を越えて今に至るまで、日本を愛し、日本のために祈ってくださっている方たちの存在があることに、感謝を覚えます。



## 真実の自由

自由という言葉は、とてもいい響きがします。歴史を見ると、人類は自由を勝ち取るために血を流して戦って来ました。自由というのは、それほど大切なものなのです。

しかし、自由をはき違えると、大変なことになります。大人にならないうちに、飲酒、喫煙も自由、人のものを盗っても自由…なんてことになると、大混乱です。私たちは、自分は自由だと思っていますが、自由をはき違えて、案外、自分で自分の首を絞めていることがあるのではないのでしょうか。

聖書にこういう言葉があります。「キリストは、自由を得させるために私たちを解放してくださいました。ですから、あなたがたは堅く立って、再び奴隷のくびきを負わされないようにしなさい。」(ガラテヤ人への手紙5章1節)

私たちは、自由だと言っている、実はこの世のしがらみに縛られています。そして、さらに突き詰めていくと、私たちを束縛している張本人は罪であることに気がつきます。自由だと言いながら、平気で、あるいは知ら

ないうちに罪を犯しているのです。その縄目から抜け出ようとしていても、罪は蜘蛛の糸のように絡みつき、ついに身動きできなくなって、滅んでしまうのです。自分の力では、どうしても脱出できないのです。

しかし、私たちをその罪の縄目から解放してくださいる方がおられます。イエス・キリストです。罪なき神の子キリストは、私たちのために十字架にかかって死なれました。本当は私たちが、罪のために神様から罰を受けなければならなかったのに、私たちの身代わりに、キリストが十字架の上で罰を受けてくださいました。ですから、私たちはそのまま罪が赦されるのです。

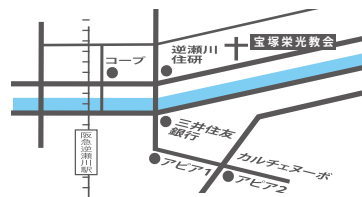
この罪の赦しこそ、解放のしるしです。キリストは、私たちを、罪の束縛にある奴隷の状態から、完全に自由にしてくださいるのです。この本当の解放者、キリストを信じましょう。そして、真実の自由を与えていただき、喜びと平安をもって歩いていきましょう。

# 宝塚栄光教会

牧師：岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076

E-mail : info@takara-eikou.com http://www.takara-eikou.com



教会HP



礼拝動画

希望のダイヤル(聖書のお話)

0797-77-3746

毎週更新。24時間つながります。  
ホームページからも利用できます。

礼拝 毎週日曜日

第一部 9:30～10:40

第二部 11:00～12:10

わたしたちは統一教会、ものみの塔(エホバの証人)、モルモン教ではなく正統的なプロテスタントのキリスト教会です。お困りの方はご相談ください。



「シナノキンバイ 一信濃金梅」

シナノキンバイは 夏山を代表する高山植物である  
標高の高い山は 夏になっても 谷間に雪が残り 雪渓となっているのだ  
やがて 雪解けの時がくると  
そのやわらかく湿った土に 花が咲くのだ  
植物の生育可能な期間は 短い  
花の時期が限られているので  
花たちは 一斉に次々と咲いてくる  
小さな花が多い  
草の間から 岩と岩の隙間から 顔をのぞかせるかのように咲いている

シナノキンバイの咲く時期も場所も そのようなところである  
そして シナノキンバイの鮮やかさは 他の花をぬきんでる美しさだ

この花に出会うには 少しばかり高い山に 足を踏み入れなければならない  
時に 風が強く吹くと 前後左右に大きく 花をゆさぶる  
花は しっかりと首を立てて 上を向いている  
シナノキンバイは まっすぐに上を向いて咲く花である

しかし あなたがたの目は 見ているから幸いだ  
あなたがたの耳は 聞いているから幸いだ

マタイ13章(聖書)